

### ▶会社の概要や特徴

創業67年、徳島県南部を拠点に総合建設業を主体として営業しています。四国地方整備局の建設業BCP優良企業として、地域社会に寄り添い、役に立つ会社となるため、社会が必要としている人材、資材、機材を持つ会社として、従業員の満足度を高め、より多くの方が働きたくなる会社を目指しています。

### ▶取り組んだ理由きっかけ

魅力ある会社となるために、何が必要かを考えたときに、自ずと答えが見えてきました。  
当社が取り組んだことは、労働環境を改善し働く人たちが誇れる会社とすること、また働いている人たちが安心と満足を得る会社とすることでした。  
社員の士気を高めるためには、他社の後を追って取り組むより、他社より1歩、2歩前を歩きたいとの思いがありました。

### ▶実現による効果など

2019年10月より、全従業員を月給制にし、重ねて完全週休2日制を導入しました。  
導入から丸2年が経過しましたが、その間に10数件の国交省、徳島県、地方自治体の工事を完工しましたが、工期の遅延、工程における悪い影響は皆無でした。  
社員は生活にメリハリがつき、欠勤率が少なくなり、効率的に作業が進んでいます。  
また、現場に於ける作業員の多能職化を進めており、職種による作業の偏り、工程間の待ち時間をなくすことで、より効率化が図れています。  
当社は積極的にICT情報化施工を推進しており、技術職員の研修を重ね、社内にICTチームを立ち上げました。  
全てのi-constructionのプロセスを内製化することができており、昨年、一昨年ともに徳島県下でICT情報化施工においてNo.1の施工実績を上げています。

### ▶4週8休実現へのプロセス

年間休日カレンダーを作成し、4週8休としています。  
日給月給で雇用されていた従業員は、所定出勤日数が減るため、年俸を算出したうえで、更に貢献度等の割増をしたうえで全員を月給制に移行しました、全体ではおよそ3割の人件費コストの増加となりましたが、メリットがデメリットより多いと確信しています。

### ▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

従業員の中には、出勤日が減ることにより、工期が遅れるとか、雨天で作業ができない日の取扱とか問題提起されましたが、真摯に話し合い、作業できる環境を整え、働く全ての人が良くなるように制度を変えることで、作業の密度が上がり効率的な作業が可能となりました。  
また、下請け業者まで完全週休2日制に巻き込むと中々現場が進まないの、下請け業者が作業する日は、交代で社員が出社し、振替の代休を取る制度としました。  
年次有給休暇と代休を積極的に取れる環境を整えることにより、工事完了時には1カ月単位で有給休暇・代休を取る社員も増えてきました。

### ▶独自の取組や工夫されてる点

ICT情報化施工を推進することで、作業の効率化が図れ、若い従業員がベテランの重機オペレーターの作業が可能となりました。  
また、施工を管理する職員も丁張から解放され、概ね50%程効率化が図れ、残業時間も大幅に少なくなり、空きの時間で書類を整えることができ、工事成績も大幅アップしました。